

学校と家庭・地域を結ぶ

# 白布城だより 2020 春 \* \* \* \* 号外4

## 栃木県立真岡高等学校定時制

栃木県真岡市白布ヶ丘24-1

☎0285-82-3413 fax0285-82-2913

### ●はじめに

振り返ってみると、わが国で新型コロナウイルスが話題になってから、まだ、4カ月ほどしか経っていないことに気づきました。新聞紙上では、1月下旬から「新型肺炎」の記事が目につくようになりました。職員室では、毎日、コロナウイルスの話題に終始し、先生方は、授業や学校行事関係の対策に追われています。筆者などは、以前のような「見えない恐怖に怯えていた」自分から、新型ウイルスに追われる生活に慣れ（麻痺し?）、「当たり前のようにになって、緊張感がうすれてきている」自分に驚きを覚える昨今です。

保護者の皆さま、生徒の皆さん、お元気ですか。生徒の皆さんとは、5月13日水曜日から、担任先生との個人面談や分散登校で話す機会も増えましたが、正常な学校生活を送れる状況までには、もう少し時間がかかりそうです。

5月3日日曜日には、安倍首相が、「緊急事態宣言を、5月6日から31日まで延長する」意向を固めました。また、福田富一栃木県知事は、5月8日金曜日の記者会見で、県立美術館や博物館、総合文化センターなどを11日、あるいは12日から再開する旨を明らかにしました。また、県立学校は、31日まで休校を続けますが、11日月曜日から分散登校を実施することになったことは、まだ、記憶に新しいことでしょう。

そして、5月14日木曜日、政府は、「新型コロナウイルス特別措置法」に基づく緊急事態宣言の39県（栃木県を含む34県と13の特定警戒都道府県のうち茨城、岐阜、愛知、石川、福岡の5県）の解除を、初めて決定しました。しかし、宣言解除に伴う「基本的対処方針」では、解除されても持続的な対策は必要だとして、**①マスクの着用②新しい生活様式の定着③不要不急の外出の自粛④三つの密を避けること**など、これまでの方針を継続する方向が示されました。（5/15金曜日・下野新聞）

政府の専門家会議は、日本の各都道府県を、感染の状況に応じて、「特定警戒」「感染拡大注意」「感染観察」の3区分に分けて適切な対策を進める必要がある、とする提言をまとめました。栃木県は、現在、「感染観察県」に該当します。この「感染観察」では、**①他区分（特定警戒や感染拡大注意）の地域への不要不急となる移動を避ける。②イベント**は参加者100人以下、収容人数の50%以下での実施は容認する。などとなります。しかし、感染者が急増した場合は、「特定警戒」レベルに指定されることとなります。

安倍総理は、会見で**①コロナの時代の新たな日常を取り戻していく。②感染リスクをゼロにすることはできない。③県をまたいだ移動は、少なくとも今月（5月）中は可能な限り控えてほしい。④「新しい生活様式」も参考に「三つの密」を、生活のあらゆる場面で避けてほしい。⑤世界経済が、リーマンショックとは比較にならない100年に一度の危機を迎えている。⑥感染者**

**の増加スピードが高まってくれば、緊急事態の二度目の宣言もあり得る。**と述べています。  
(5/15金曜日・下野新聞「首相会見要旨」)

総理の会見を受けて栃木県では、5月14日木曜日、福田富一知事が記者会見を行い、各業界のガイドラインに沿った感染防止対策の徹底を条件に、「すべての施設に対する休業要請は行わない」考えを示しました。また、安倍首相は、社会経済活動を本格化させる意向を表明して、「コロナの時代の新たな日常を取り戻していく。」と述べ、「100年に一度の危機を迎えている」と、県民に、今後も緊張感をもって生活するよう指摘したのです。(5/4~15・下野新聞)

5月15日金曜日、福田知事は記者会見で、「31日までを予定していた県立学校の急行期間を1週間前倒しして、**25日月曜日に学校を再開する**」と発表しました。5月いっぱいには「分散登校」を実施し、**6月1日月曜日以降、「通常登校」となる予定**です。そして、県は、この間の休校期間の補充として、**夏休みを2~3週間ほど短縮して学習の保障に充てる方針**です。しかし、今後、県の指標で警戒度が「特定警戒」に上がった場合には、再休校も検討することになります(5/16土・下野新聞)。

しかし、新型コロナウイルスは、さまざまな物質の表面で高い安定性を示し、コピー用紙やティッシュペーパーの表面からは3時間後にはウイルスが検出されなくなったようですが、**驚くべきことに、サージカルマスクの内側に付着した場合は4日後、外側では7日以上、感染力を持つ**ことが、香港大学が4月2日に発表した研究・実験結果で明らかになったそうです。温度による新型コロナウイルスの消滅時間は次のとおりだそうです。

22°	7日後
37°	24時間後
56°	30分後
70°	5分後

また、私たちが日常的に用いている**消毒液家庭用漂白剤や消毒用エタノールは、どれも、おおむね有効である**との研究結果が出ています。ただし、**ハンドソープは、5分後まで、感染力のあるウイルスが残っていた**そうです。(5/13・水 日経スタイル)

### ＜生徒の皆さんへ＞

ここに、これまでの新型コロナウイルスについての国の方針や新たなメッセージをまとめてみました。聞きなれない言葉も使われていると思いますが、緊迫した状況下にある今日、これらの言葉を知らないとは正確な知識が得られませんから、生徒の皆さんにはよく覚えていただきたいと思います。

## ■新型コロナウイルスに関する14の言葉

### 1. コロナ(Corona) ラテン語。もともと、「王冠」の意味。

今回のようなウイルスの形状が、たまたま本物の「コロナ」に似た形をしていたために命名されました。そのような意味では、太陽の周りに現れる「コロナ」と語源は同じです。

## 2. WHO (World Health Organization)

「世界保健機関」の略。

1948年設立。保健衛生の分野で国際協力を行う国連の専門機関のひとつ。  
「パンデミック」(※後述)などを発令できます。

## 3. COVID (コビッド) -19 今回の新型コロナウイルスの固有名詞。

2019年に発祥が確認されたのでこの数字がつく。従来は、「スペイン風邪」など、発生が多かったり、最初に確認された地名などがつけられていましたが、偏見を招く可能性が大きいので、今回は「武漢熱」や「中国ウイルス」等とは、公的には使いません。

## 4. アビガン 日本の富士フィルム HD の製薬会社が開発した**新型コロナウイルスの治療薬**のことです。

## 5. レムデシビル アメリカ合衆国で承認され、のち、わが国でも承認された**新型コロナウイルスの治療薬**です。

元来は、**エボラ出血熱の治療のために**研究開発された薬だそうです。

## 6. コロナ禍 「コロナ禍 (か)」と読みます。「**新型コロナウイルスによる被害**」の意味。

「禍」とは、「災い(わざわい)」の意味。上級生は、国語(漢文)の授業で勉強しましたね。

## 7. パンデミック (Pandemic) 「**感染の世界的大流行**」の意味。

WHOは、今年の初め頃、「まだ、パンデミックと呼ぶ状況ではない。」と判断していましたが、中華人民共和国の武漢市のみならず、地球上の多くの国で発祥が確認されだして、「パンデミック」と確認しました。

## 8. PCR 「**ポリメラーゼ連鎖反応**」のこと。病原体の検出検査を言います。

## 9. クラスタ (Cluster) 「**患者集団**」のこと。

一箇所でたくさんの患者が発生した場合に用います。最近では、韓国のクラブに出入りしていた客や家族など160人を超す多くの感染者が発生したとき用いました。因みに、栃木県では、クラスタは発生していません。

## 10. オーバーシュート (overshoot) 「**感染者の爆発的な増加**」のこと。

徐々に感染者が増加するのではなく、毎日、100人以上の感染者が続いた東京都のような状態をいいます。

## 11. ロックダウン (lockdown) **都市封鎖**(立ち入り禁止)したり、外出禁止の措置や生活必需品以外を扱う店舗の閉鎖を呼び掛ける強力な措置のことです。

しかし、日本の法律では、罰則を施した「強制的な命令」はできません。

## 12. ソーシャル・ディスタンス (Social Distance) 「**社会的距離**」のこと。

相手との距離を2m程度に保つことを言います。新型コロナウイルスは、症状がない人が感染していることもあるので、人と人との距離を確保して感染リスクを少なくしよう、ということです。

ただ、ソーシャルディスタンスでは、社会的な分断をイメージされてしまうので、**フィジカルディスタンス(身体的距離)**という言葉を用いるように推奨されています。

**13. 3密(さんみつ)** 令和2年5月4日の安倍総理の「緊急事態宣言延長」時の記者会見などで登場した言葉。①密閉、②密集、③密接のこと。

①密閉 窓がなかったり、換気ができなかったりする場所(バス、電車、映画館、カラオケボックス)など。部屋の広さではなく換気の程度が問題。窓は、1時間に2回以上、数分間開ける。家庭用エアコンも喚起されないので換気が必要です。

②密集 人がたくさん集まり、少人数でも近い距離で集まること。テーマパーク、百貨店、喫茶店、レストランなど。レストランなどでは、すでに座席を減らして席を離しているところもあります。違和感がありますが、横並びで座ることも対策の一つになります。ハンバーガーショップなどでも注意しましょう。

③密接 互いに手が届く距離で会話や大声を出したり、運動などを行うこと。密接は、日常生活上、どんなところでも起こり得ます。学校の教室、飲食店、電車やバスの中での会話、仲良しグループでの語らいなど、各個人で注意してください。

**14. 新しい生活様式** 政府の専門家会議が国民に求めている生活様式のこと。

①外出や会話の際には、マスクを着用して、相手と2m離れる。

②手洗い、検温、換気を(習慣化)する。

③テレワークなどで職場の人を減らし、通勤通学は混雑する時間帯を避ける。

## 白布の嵐～あとがきに変えて～

「白布城だより」の号外も4号を迎えました。地球上に急速に感染が広まったCOVID-19。筆者は当初、「自分には関係ない!」と、高をくくっていたのですが、近くの総合病院で感染者が出たり、良く利用するスーパーマーケットの店員の方が発症したり、知らず知らずのうちにウイルスが身近なところまで忍び寄っていたのです。「あれよあれよ」と言っているうちに、渦に巻き込まれそうな位置にいることに気づきました。

生徒の皆さんの登校も、分散登校ではありますが始まりました。しばらくすると、通常登校になるでしょう。しかし、新型コロナウイルスが減少に向かっているわけではないのです。コロナの状態は、ほとんど変わらないようです。

真岡高校定時制の生徒の皆さん、保護者の皆さま、そして関係するすべての皆さま、緊急事態が解除されても気を緩めることなく、まずは、自分の身を第一に考えて、「緊張を持続させて」頑張りましょう。  
(記録・広報係)